

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第39週[9月27日～10月3日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

検査速報 第4例目A香港型 (AH3) インフルエンザウイルス検出

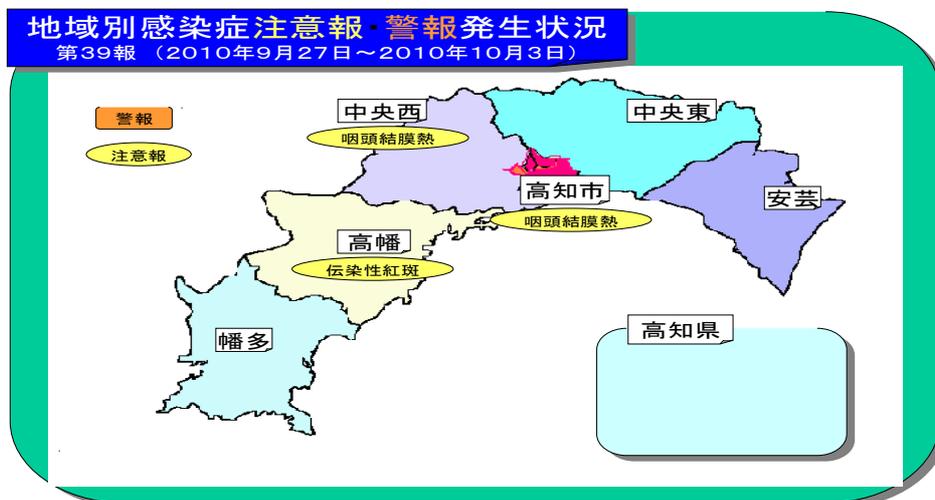
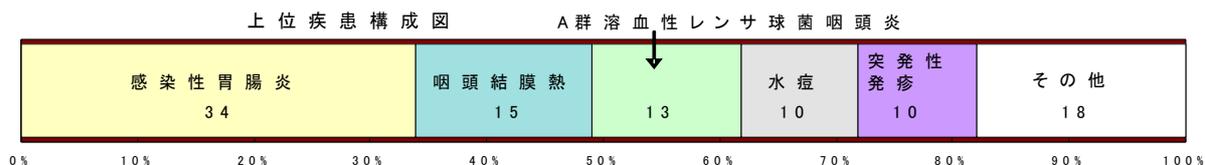
県内では、第29週に中央東福祉保健所管内で1例、第34週に幡多福祉保健所管内で2例の季節性インフルエンザA香港型 (AH3) が検出されている。第40週に第4例目となるA香港型 (AH3) が高知市保健所管内の医療機関でインフルエンザ (簡易迅速キットA型陽性) と診断された患者から検出された。

県内情報

○ 患者情報総評

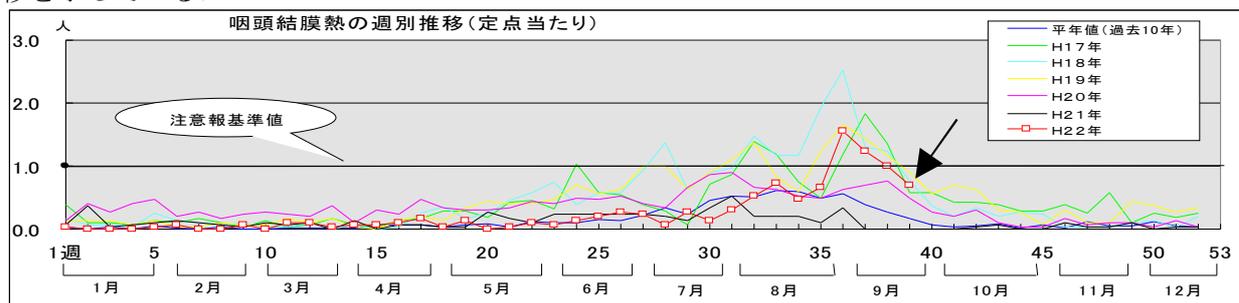
注意報発令疾患：なし

- 不安定な天気が続いており、体感温も涼しかったり、むし暑かったりと安定しない日が多い。
- 咽頭結膜熱 (高知市:注意報→注意報, 中央西:注意報→注意報) は引き続き減少し、総数で第36週から続いていた注意報はみられなくなった。



咽頭結膜熱：今週0.70 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

注意報値を越す地域は中央西と高知市のみとなり、総数は第36週をピークに減少し、例年同様の推移を示している。



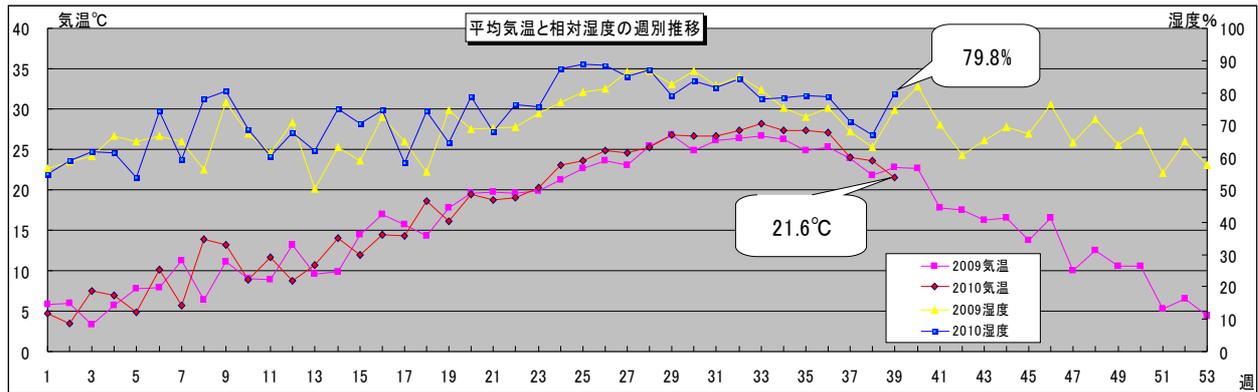
○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
33	手足口病	4歳 女	高幡	Enterovirus 71
36	感染性胃腸炎	1歳 男	高知市	Adenovirus 5
36	咽頭結膜熱	5歳 女	高幡	Adenovirus 3
36	咽頭結膜熱	2歳 女	高幡	Adenovirus 2
36	咽頭結膜熱	1歳 男	高幡	Adenovirus 2
38	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A16

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 2例 (85歳男) 《安芸》, (84歳女) 《中央東》 (今年117例)

○ 高知県の平均気温と湿度 (週別)



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

- 《さたけ小児科》：帯状疱疹 1例 (2歳男)
- 《渭南病院小児科》：マイコプラズマ肺炎 1例 (6歳女)

中央西：

- 《石黒小児科》：帯状疱疹 2例 (12歳女, 22歳男)

高知市：

- 《けら小児科・アレルギー科》：咽頭結膜熱の10例 (1～6歳男女) はアデノウイルス陽性
帯状疱疹 1例 (39歳女)
カンピロバクター腸炎 1例 (10歳男)
サルモネラ07 1例 (42歳女)
百日咳 1例 (4歳女：東浜株1280倍, 山口株1280倍) DPT4回済
- 《福井小児科・内科・循環器科》：咽頭結膜熱の1例 (1歳女) はアデノウイルス陽性
マイコプラズマ感染症 1例 (7歳男)
- 《細木病院小児科》：Campylobacter jejuni 1例 (11歳男)

全国情報第37週 (9/13～9/19) (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

2類感染症：結核276例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢5例、腸管出血性大腸菌感染症147例 (有症者83例、うちHUS 3例)、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎4例、デング熱1、日本紅斑熱5例、マラリア3例、類鼻疽1例、レジオネラ症12例、

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群19例 (無症候17例、その他2例)、梅毒11例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん1例、麻しん3例

他に2010年第36週までに診断されたものの報告遅れとして、急性灰白髄炎1例、E型肝炎1例、Q熱1例、デング熱3例、日本紅斑熱14例、ライム病1例、急性脳炎2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例などの報告があった。

◆腸管出血性大腸菌感染症（2010年9月22日現在）

2010年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、例年同様に第20週から増加し始めた。第22～24週にかけて、三重県の中学・高校における大規模な集団感染事例（189例）が発生したことで一時的に報告が急増した。その後いったん減少したが、第26週以降再び増加して第31週に200例を超え、第34週の256例をピークに第35週202例、第36週220例と200例を超える報告が続いたが、第37週は147例と大きく減少した。本年第37週までの累積報告数3,226例は、2000年以降の各年同期間の累積報告数と比較して2001年、2008年、2007年に次いで4番目に多い報告数である（2000年2,628例、2001年3,805例、2002年2,652例、2003年1,945例、2004年2,922例、2005年2,740例、2006年2,942例、2007年3,230例、2008年3,298例、2009年2,733例）。

第37週に報告のあった147例は、患者（有症状者）が83例（56%）、無症状病原体保有者が64例（44%）であった。都道府県別にみると、東京都（20例）、千葉県（17例）、三重県（12例）、滋賀県、兵庫県、福岡県（各9例）の報告が多かった。性別では男性65例、女性82例であり、年齢群別では0～9歳61例、20～29歳21例、30～39歳19例の順に多かった。腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）の発症者は3例（6歳、9歳、80代）おり、病原体の診断方法は菌分離が1例（O157 VT1・VT2）、血清でのO抗原凝集抗体の検出が2例（うち1例は届出時にO165LPS抗体陽性と判明）であった。

第1～37週の累積報告数3,226例についてみると、報告の多い都道府県は、三重県（338例）、東京都（278例）、福岡県（232例）、大阪府（208例）、愛知県（190例）であり、性別では男性1,504例、女性1,722例、年齢群別では0～9歳993例、10～19歳612例、20～29歳495例の順に多い。推定または確定された感染源・感染経路として、肉の喫食が記載されていたのは483例（15%）であり、そのうち生肉または加熱不十分の肉を喫食していた者が228例（1歳2例、2歳5例、3歳7例、4歳4例、5～9歳39例、10～14歳19例、15歳以上152例）であった。最近発生した集団感染として、第35週から三重県の福祉施設関連（O157 VT1・VT2）、第35週から福岡県の保育施設関連（O157 VT1・VT2）、第35週から愛媛県の保育施設関連（O157VT1）などがあつた。

HUS発症者は累計67例（有症状者でのHUS発症率3.1%）報告されており、性別では男性27例、女性40例で、年齢群別では0～4歳33例（同6.7%）、5～9歳8例（同2.6%）、10～14歳5例（同2.4%）、15～64歳10例（同1.1%）、65歳以上11例（同5.3%）であった。そのうち菌の分離が確認されたのは46例で、内訳はO157が40例（VT1・VT2 23例、VT2 13例、VT不明4例）、O121が2例（いずれもVT2）、O26が1例（VT1）、O145が1例（VT2）、O不明が2例（VT1・VT2 1例、VT不明1例）であった。死亡例はこれまでに2歳男性（O157 VT1・VT2、HUS発症）、70代男性（O不明VT不明、HUS発症）、70代女性（O157 VT1・VT2、HUS発症せず）、90代男性（O157VT1・VT2、HUS発症せず）の4例が報告されている。

◆麻疹ウイルス 2010年

2010年2～9月に北海道、茨城県、千葉県、東京都、愛知県、三重県、福岡県の7都道県から11件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。

5月にD5型が1件（千葉県の麻疹患者から）、H1型が2件（北海道で中国から入国後発症した麻疹患者と茨城県で中国から帰国して11日後に発症した麻疹患者から）、D9型が愛知県で7月に2件（フィリピンから帰国して3日後に発症した麻疹患者と家族内接触者から）、8月に1件（7月の初発例との医療機関外来での接触者から）、三重県で8月と9月に各1件（フィリピンから帰国して3日後に発症した麻疹患者と渡航歴のない麻疹患者から）、計5件検出されている。また、A型（ワクチンタイプ）が東京都で2月に1件（ワクチン接種9日後に採取された検体から）、3月に1件（ワクチン接種歴不明）、福岡県で6月に1件（ワクチン接種11日後に採取された検体から）、計3件（いずれも発疹症患者から）検出されている。

◆インフルエンザウイルス2009/10シーズン

AH1pdmは2010年第4週以降減少し、第12週以降は少数の報告となっている。

このうち、輸入例からの分離・検出が12件（AH1pdm 3件、AH3亜型8件、B型ビクトリア系統株1件）報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は<http://idsc.nih.gov/iasr/influ.html> を参照ください。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(38週)	高知県(39週末累計) H22/1/4~H22/10/3	全国(38週末累計) H22/1/4~H22/9/26
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ									202 (0.04)	2,552 (53.17)	224,976 (47.17)
小児科	咽頭結膜熱	1	1	13	4	1	1	21 (0.70)	30 (1.00)	662 (0.22)	291 (9.70)	28,031 (9.26)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	8	1	2		17 (0.57)	12 (0.40)	1,671 (0.55)	808 (26.93)	141,474 (46.74)
	感染性胃腸炎	12	6	13	7		9	47 (1.57)	34 (1.13)	8,060 (2.67)	7,460 (248.67)	842,502 (278.33)
	水痘		6	6		1	1	14 (0.47)	18 (0.60)	1,537 (0.51)	1,609 (53.63)	172,683 (57.05)
	手足口病		1	2			2	5 (0.17)	6 (0.20)	1,867 (0.62)	3,212 (107.07)	137,246 (45.34)
	伝染性紅斑				2	2		4 (0.13)	3 (0.10)	615 (0.20)	214 (7.13)	34,062 (11.25)
	突発性発疹	1	2	6	2	1	2	14 (0.47)	12 (0.40)	1,718 (0.57)	485 (16.17)	67,575 (22.32)
	百日咳			1	1			2 (0.07)		71 (0.02)	63 (2.10)	4,221 (1.39)
	ヘルパンギーナ		4	1	1		1	7 (0.23)	7 (0.23)	908 (0.30)	1,013 (33.77)	135,675 (44.82)
	流行性耳下腺炎		1	3				4 (0.13)	2 (0.07)	2,916 (0.97)	193 (6.43)	130,634 (43.16)
	RSウイルス感染症									715 (0.24)	761 (25.37)	49,022 (16.19)
	眼科	急性出血性結膜炎									11 (0.02)	2 (0.67)
流行性角結膜炎				1				1 (0.33)	2 (0.67)	458 (0.67)	63 (21.00)	15,568 (22.96)
基幹	細菌性髄膜炎									10 (0.02)	11 (1.57)	359 (0.78)
	無菌性髄膜炎									24 (0.05)	17 (2.43)	637 (1.38)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)	1 (0.14)	154 (0.34)	52 (7.43)	6,486 (14.04)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1 (0.14)		14 (0.03)	22 (3.14)	453 (0.98)
計 (小児科定点当たり人数)	14 (7.00)	27 (3.86)	56 (4.82)	18 (6.00)	7 (3.50)	16 (3.20)	138 (4.50)					
前週 (小児科定点当たり人数)	7 (3.50)	21 (3.00)	58 (5.00)	19 (6.33)	11 (5.50)	11 (2.20)		127 (4.13)	21,613	18,828 (590.13)	1,992,062	

注 () は定点当たり人数。

定点当たり

第39週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(38週)	高知県(39週末累計) H22/1/4~H22/10/3
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ									0.04	53.17
小児科	咽頭結膜熱	0.50	0.14	1.18	1.33	0.50	0.20	0.70	1.00	0.22	9.70
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	0.73	0.33	1.00		0.57	0.40	0.55	26.93
	感染性胃腸炎	6.00	0.86	1.18	2.33		1.80	1.57	1.13	2.67	248.67
	水痘		0.86	0.55		0.50	0.20	0.47	0.60	0.51	53.63
	手足口病		0.14	0.18			0.40	0.17	0.20	0.62	107.07
	伝染性紅斑				0.67	1.00		0.13	0.10	0.20	7.13
	突発性発疹	0.50	0.29	0.55	0.67	0.50	0.40	0.47	0.40	0.57	16.17
	百日咳			0.09	0.33			0.07		0.02	2.10
	ヘルパンギーナ		0.57	0.09	0.33		0.20	0.23	0.23	0.30	33.77
	流行性耳下腺炎		0.14	0.27				0.13	0.07	0.97	6.43
	RSウイルス感染症									0.24	25.37
	眼科	急性出血性結膜炎									0.02
流行性角結膜炎				1.00				0.33	0.67	0.67	21.00
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	1.57
	無菌性髄膜炎									0.05	2.43
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.14	0.34	7.43
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.14		0.03	3.14
計 (小児科定点当たり人数)	7.00	3.86	4.82	6.00	3.50	3.20	4.50				
前週 (小児科定点当たり人数)	3.50	3.00	5.00	6.33	5.50	2.20		4.13		590.13	

2010年週報推移(定点当たり)

